

61

P 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和8年2月23日 9時50分～12時30分)

## 注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
  2. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	●	②	③	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	⑤

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	●	④	●

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	●

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
- イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

## 注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
  2. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3 5

と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことになるので注意すること。

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。  
イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

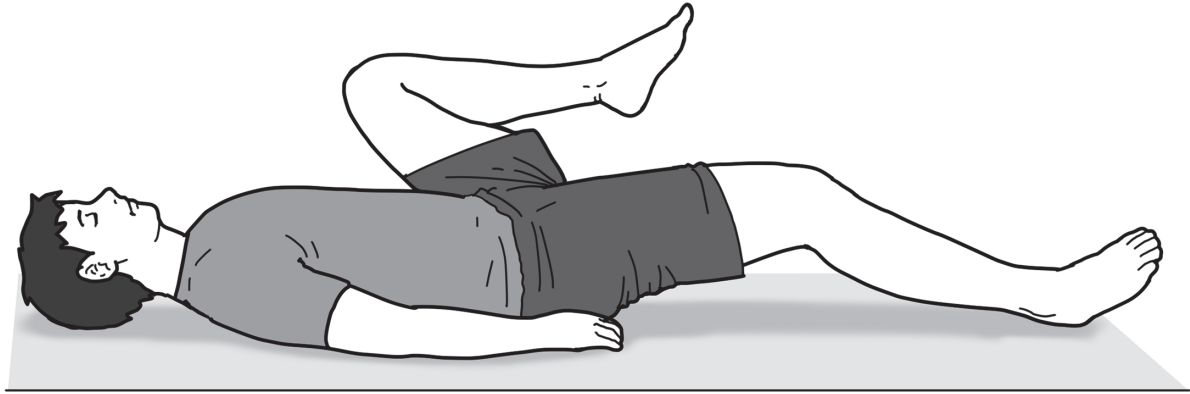






1 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準 1995年)に従って左股関節屈曲を行ったところ、疼痛の訴えはないが図のような状態となったため測定を中断した。

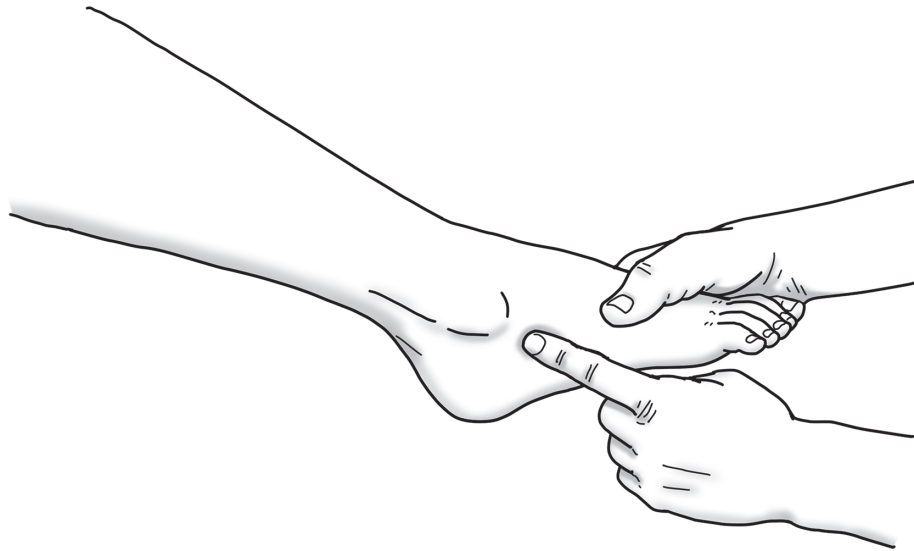
この状態の説明で正しいのはどれか。



1. 骨盤を後傾させて測定する。
2. 基本軸は大転子を通る水平線である。
3. 屈曲の参考可動域は 150 度である。
4. 腸骨大腿靭帯が屈曲制限因子である。
5. 右腸腰筋の短縮が疑われる。

2 70歳の男性。糖尿病性ニューロパチー。下腿筋の萎縮と筋力低下が著明のため Daniels らの徒手筋力テストを行ったところ、関節運動が全く生じなかったため、段階1の検査を図のように実施した。

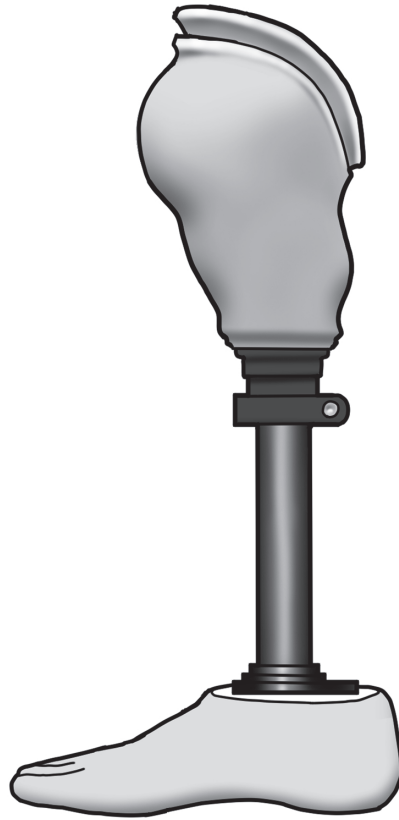
対象としている筋はどれか。



1. 後脛骨筋
2. 前脛骨筋
3. 短腓骨筋
4. 長母指屈筋
5. ヒラメ筋

3 52歳の男性。交通事故による下腿切断。完成した義足を図に示す。立脚後期に膝折れが生じた。

原因で正しいのはどれか。



1. 前足部が硬すぎる。
2. 靴の踵が低すぎる。
3. 足部が底屈しすぎる。
4. ソケットが足部に対して後ろすぎる。
5. ソケットの初期屈曲角が大きすぎる。

次の文により、4、5の問いに答えよ。

70歳の男性。右利き。右脳出血による左片麻痺。発症後2週。運動麻痺は左上下肢ともBrunnstrom法ステージⅢ、感覚障害は中等度。座位では、右上下肢で座面や床面を押し、図のような姿勢となる。転倒の危険があり、理学療法士が正中位に修正を試みるが抵抗する。平行棒内立位でも同様に右上下肢で押すため身体は左に傾斜し、立位保持要介助である。



4 理学療法を行う上で最も優先する検査はどれか。

1. SCP
2. SLTA
3. TMT
4. WAIS-IV
5. WCST

5 移乗動作時に右上下肢でベッド柵や床面を強く押して麻痺側に傾くため、自立が難しい。

移乗動作改善を目的とした理学療法で最も適切なのはどれか。

1. 閉眼での立位保持練習
2. 右上下肢の関節可動域運動
3. 右大腿四頭筋の筋力増強運動
4. 手すりを用いた立ち上がり練習
5. リーチ動作を用いた非麻痺側への重心移動

6 58歳の男性。右脳出血による左片麻痺。発症から3か月経過し、Brunnstrom法ステージでは、左下肢Ⅲで中等度の半側空間無視がみられる。ブレーキのかけ忘れが観察されるが、車椅子とベッド、トイレの移乗動作は自力でできる。下衣をあげることで、入浴、階段昇降は介助を要する。平地歩行は杖と装具を使用し、介助で30m歩行することができる。車椅子駆動は可能である。排泄コントロールは良好で食事と整容は自立レベルであった。

Barthel Indexで正しいのはどれか。

1. 55点
2. 60点
3. 65点
4. 70点
5. 75点

7 65歳の男性。心不全のため入院した。現在は $\beta$ 遮断薬を内服している。心電図モニターの波形(別冊No. 1)を別に示す。

所見で正しいのはどれか。

1. 心室期外収縮
2. 心房細動
3. 心房粗動
4. 洞性徐脈
5. Ⅲ度房室ブロック

別冊 No. 1
-------------

8 70歳の男性。COPD。健康のために家の周りを30分程度、1日2回歩くことを日課にしている。最近、緩やかな上り坂を上るときや平坦な道で早歩きをするときに息切れするようになった。

この患者の mMRC スケールはどれか。

1. Grade 0
2. Grade 1
3. Grade 2
4. Grade 3
5. Grade 4

9 80歳の男性。食道癌に対する開胸手術翌日で、経口挿管人工呼吸管理中。鼠径部から高用量の昇圧剤を投与して血圧の安定に努めている。

理学療法で最も適切なものはどれか。

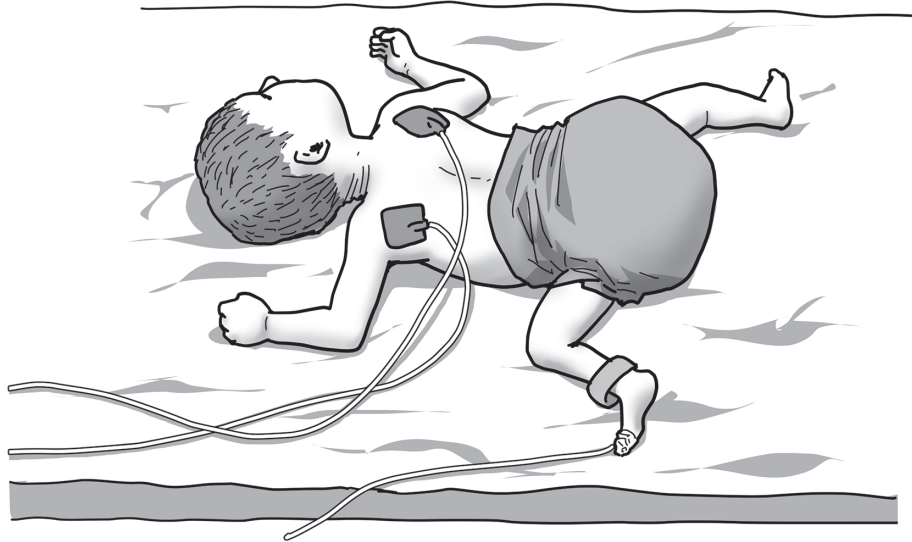
1. 能動的座位練習
2. 呼吸筋トレーニング
3. 非上肢支持持久性運動
4. 股関節伸展の関節可動域運動
5. 下肢筋に対する神経筋電気刺激

10 12歳の男児。約2か月来の膝関節痛を主訴に近医を受診した。陸上部に所属しているが、特に外傷の既往はない。下腿近位部の腫脹、圧痛、安静時痛を認めた。膝関節の可動域は疼痛のため、著明に制限されていた。単純X線画像およびMRI画像(別冊No. 2)を別に示す。画像所見で異常を指摘され、紹介受診となった。発熱はなく全身状態は良好。血液検査では炎症反応は正常で、ALPの上昇を認めた。最も考えられる疾患はどれか。

1. 骨挫傷
2. 骨髄炎
3. 骨肉腫
4. 軟骨肉腫
5. 疲労骨折

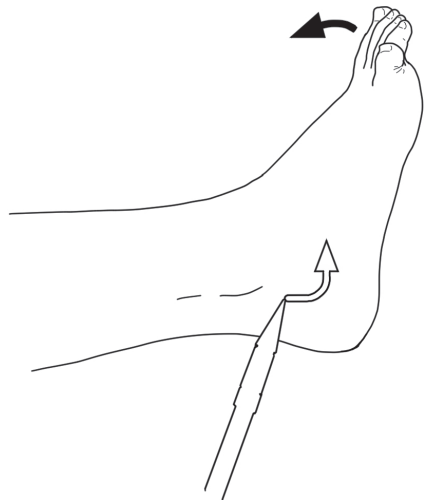
別 冊 No. 2
--------------

- 11 NICU に入院中の低出生体重児。在胎週数 30 週。腹臥位での姿勢を図に示す。  
この児に対する適切なポジショニングはどれか。2 つ選べ。

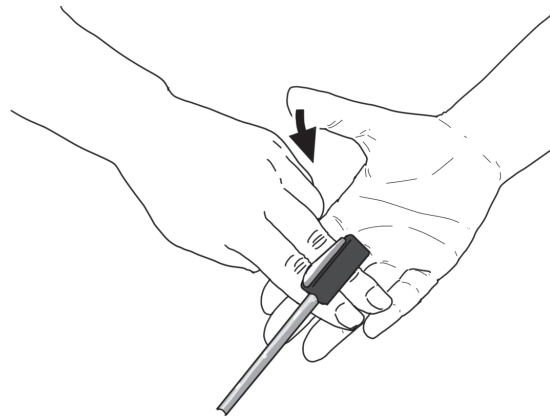


1. 頭部伸展位
2. 体幹伸展位
3. 肩甲帯前方突出位
4. 肩関節外転位
5. 股関節内外転中間位

12 病的反射の検査で正しいのはどれか。



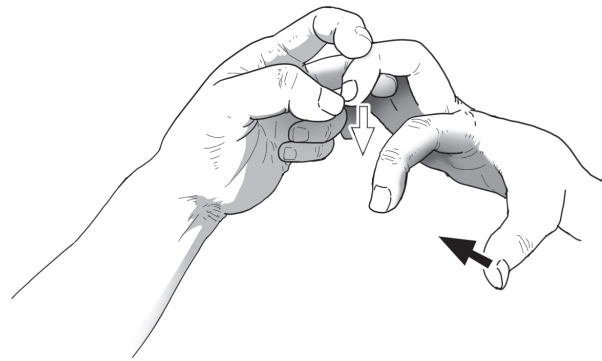
1. Chaddock 反射



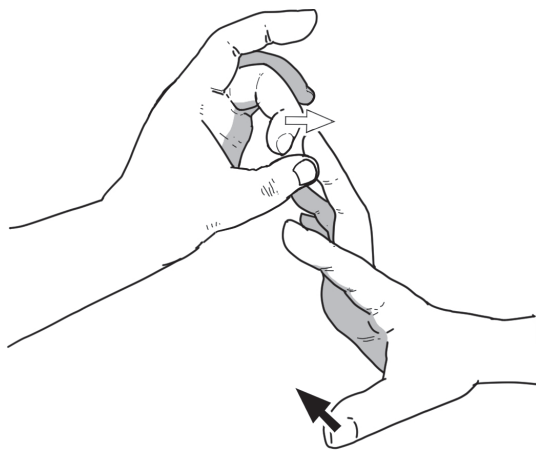
2. Hoffmann 反射



3. Oppenheim 反射



4. Trömner 反射



5. Wartenberg 反射

← : 操作方向

← : 反応

13 64歳の男性。第6頸髄損傷(AIS A)の診断で回復期リハビリテーション病棟に入院して治療が行われている。リハビリテーション治療前の問診で頭痛の訴えがあり、顔面紅潮、発汗を認めた。血圧を測定したところ、220/100 mmHgであった。

この状態で適切なものはどれか。

1. 頰脈を認める。
2. 体位を臥位にする。
3. 重篤な合併症は生じない。
4. 排尿・排便状況を確認する。
5. 腰髄損傷の患者にも生じやすい。

14 60歳の男性。末梢動脈疾患。Fontaine 分類Ⅱ度。連続歩行距離が低下しているが、歩行時以外の疼痛はなく、足部の変形は見られない。

この患者の連続歩行能力改善に最も適切な理学療法はどれか。

1. 寒冷療法
2. 足底挿板作製
3. トレッドミル歩行練習
4. コンプレッションポンプ
5. 下肢他動的関節可動域運動

15 74歳の女性。起床時に突然回転性めまいを生じ受診したところ、良性発作性頭位めまい症と診断された。発症2日で、寝返り時や起き上がり時に一過性の回転性めまい症状はあるが、歩行安定性に問題はない。

理学療法で適切なのはどれか。

1. Epley 法を行う。
2. 杖歩行練習を行う。
3. 閉眼でのバランス練習を行う。
4. 頭部回旋を伴わない動作方法を指導する。
5. 等尺性運動を用いた頸部の筋力増強練習を行う。

16 34歳の女性。28歳で再発寛解型の多発性硬化症と診断を受け、再発のため入院した。理学療法実施後、起き上がり時に背中から下方に電撃痛を訴えた。

この徴候で正しいのはどれか。

1. Barré 徴候
2. Gowers 徴候
3. Horner 徴候
4. Lhermitte 徴候
5. Uhthoff 徴候

17 45歳の男性。筋萎縮性側索硬化症。発症から半年経過しているが、ADLは自立している。主に下肢の筋力低下および鶏歩が認められる。

理学療法で最も適切なのはどれか。

1. 車椅子操作の練習
2. 下肢の漸増抵抗運動
3. 両松葉杖での歩行練習
4. 下肢に対する感覚再教育
5. プラスチック AFO を装着した歩行練習

18 58歳の男性。身長160 cm、体重90 kg、腹囲120 cm、血圧150/90 mmHg。産  
業医よりメタボリックシンドロームに対する運動を習慣づけるよう指示された。

最も適切な運動形式はどれか。

1. 階段昇降
2. 自転車エルゴメーター
3. 腹筋筋力トレーニング
4. プランク
5. ランニング

19 70歳の男性。陳旧性心筋梗塞。独居生活をしていたが、定期検査のため内科病  
棟に1週間入院したところ、入院前に比べて階段昇降ができなくなり、歩行距離も  
30 m程度まで低下した。

この状態の説明で最も適切なのはどれか。

1. AE〈acute exacerbation〉
2. HAD〈Hospitalization Associated Disability〉
3. ICU-AW
4. NYHA 心機能分類 I
5. PICS〈Post Intensive Care Syndrome〉

20 8週の臨床実習に臨む学生。3日前に右変形性膝関節症により人工関節置換術を施行した70歳代の女性の理学療法に参加する。安静時痛は認めないが、体動時はNRSで6点。右膝関節可動域は伸展-10度、屈曲75度。歩行器を使用した歩行練習を本日より導入した。

実習の参加レベルと内容の組合せで誤っているのはどれか。

1. 見学 ————— 歩行器での歩行練習
2. 共同参加 ————— 車椅子からの移乗動作介助
3. 共同参加 ————— 左右の大腿周径の計測
4. 実施 ————— 右大腿四頭筋セッティング
5. 実施 ————— 右膝関節の他動的な関節可動域運動

21 深部反射と反射中枢の組合せで正しいのはどれか。

1. 上腕二頭筋反射 ————— C3・C4
2. 上腕三頭筋反射 ————— C4・C5
3. 腕橈骨筋反射 ————— C5・C6
4. 膝蓋腱反射 ————— T12・L1
5. アキレス腱反射 ————— L3・L4

22 安静立位姿勢における重心線の通る位置で正しいのはどれか。

1. 耳垂の前方
2. 肩峰の前方
3. 大転子の前方
4. 膝蓋骨の前方
5. 外果の前方

23 COPD の ADL 動作で最も息切れが生じやすいのはどれか。

1. 食 事
2. 洗 髪
3. 排 尿
4. 歯磨き
5. ズボンの着脱

24 両側支柱付き長下肢装具の適合判定で正しいのはどれか。

1. 外側支柱の高さは大転子である。
2. 下腿半月の位置は腓骨頭から 5～6 cm 下である。
3. 膝継手の位置は大腿骨顆部の 2～3 cm 下である。
4. 足継手の位置は内果と外果の中央を結ぶ線である。
5. 大腿下位半月と膝継手の位置は下腿半月と膝継手までの距離と等しい。

25 有酸素運動を用いた長期間の運動療法で増加するのはどれか。

1. 中性脂肪
2. 内臓脂肪
3. HDL コレステロール
4. LDL コレステロール
5. 内膜中膜複合体厚〈Intima Media Thickness : IMT〉

26 運動学習の組合せで正しいのはどれか。

1. 正の転移 ————— ソフトボールの経験が野球の投球動作の技能向上を早める。
2. エラーレス学習 ————— トレッドミル歩行練習と同時に計算課題を行う。
3. 同時フィードバック ————— バッティング動作時に動画撮影して終了後に確認する。
4. パフォーマンスの知識 ————— 部分荷重練習時に患側下肢の荷重量を伝える。
5. メンタル・プラクティス ————— 起居動作練習の時に試行錯誤を繰り返すと失敗数が減少する。

27 SF-36 で正しいのはどれか。

1. IADL の指標である。
2. 下位尺度は5つである。
3. 客観的な評価指標である。
4. 健常高齢者は対象でない。
5. 社会生活機能に関する質問が含まれる。

28 3群以上の連続変数の平均値の差を検定するのはどれか。

1. 一元配置分散分析
2. カイ二乗( $\chi^2$ 乗)検定
3. 重回帰分析
4. Log-rank 検定
5. Mann-Whitney の U 検定

29 25 cm の高さの段差にスロープを設置する。

車椅子の自走を想定した場合のスロープの長さで最も適切なのはどれか。

1. 1.0 m
2. 1.5 m
3. 2.0 m
4. 2.5 m
5. 3.0 m

30 半月板損傷の診断に有用なテストはどれか。2つ選べ。

1. Apley テスト
2. Ely テスト
3. Lachman テスト
4. McMurray テスト
5. Patrick テスト

31 ICF で「活動と参加」に含まれるのはどれか。

1. 態 度
2. 認 知
3. 行動様式
4. 対人関係
5. 支援と関係

32 加齢による筋萎縮の理学療法で最も適切なのはどれか。

1. 短期間で集中的に実施する。
2. Type I 線維の筋力向上を優先する。
3. 抗重力筋の筋力トレーニングを実施する。
4. 集団運動は併存疾患のない者を対象とする。
5. レジスタンス運動は最大負荷の 90 % で実施する。

33 SIAS の評価で正しいのはどれか。

1. 注 視
2. 痛 覚
3. 病的反射
4. 膝関節可動域
5. 非麻痺側の握力

34 装具と疾患の組合せで適切なのはどれか。

1. pogo-stick 装具 ————— 脳性麻痺
2. 交互歩行装具(RGO) ————— 二分脊椎(機能残存レベル T10)
3. コックアップ・スプリント —— 正中神経麻痺
4. 短下肢装具(足関節底屈制動式) — 脳卒中片麻痺(下肢 Brunnstrom 法ステージ V)
5. ハロー・ベスト ————— 腰部脊柱管狭窄症

35 Down 症候群の乳児に対する家族指導で最も優先度が低いのはどれか。

1. 関節拘縮の予防法
2. 離乳食の摂食指導
3. 家族のストレス対処法
4. 姿勢の安定を促す抱き方
5. コミュニケーションの取り方

36 慢性疼痛で正しいのはどれか。

1. 手術療法が勧められる。
2. 要因は1つに絞られる。
3. 1～2か月間続く疼痛である。
4. 多職種 of 専門家が関わることを望ましい。
5. 治療目標は痛みのない状態を達成することである。

37 注意障害を評価する検査法はどれか。

1. BIT
2. CAT
3. RBMT
4. SLTA
5. VPTA〈Visual Perception Test for Agnosia〉

38 腕神経叢損傷の病態で適切なのはどれか。

1. 深部腱反射は亢進することが多い。
2. すべての症例で自然回復が期待できる。
3. 下位腕神経叢損傷では、肘屈曲が障害される。
4. 上位腕神経叢損傷では、手指の巧緻運動が障害される。
5. 完全型腕神経叢損傷では、近位から遠位までの運動障害がみられる。

39 運動計画で外的刺激情報を反映した運動の準備に最も関わるのはどれか。

1. 小 脳
2. 運動前野
3. 一次運動野
4. 大脳基底核
5. 補足運動野

40 Hoehn&Yahr の重症度分類ステージⅡと判断する症状はどれか。

1. 四肢の拘縮
2. 頻回の転倒
3. 起立性低血圧
4. 両上肢の固縮
5. Romberg 徴候

41 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン 2020 年改訂版(日本循環器学会)に基づく、大動脈解離のリハビリテーション治療の開始基準において、患者のバイタルサインと管理状態の組合せで基準範囲内にあるのはどれか。

1. RASS ————— -1
2. 体温 ————— 38.8℃
3. 呼吸数 ————— 38 回/分
4. 酸素飽和度〈SaO<sub>2</sub>〉 ————— 85 %
5. 吸入酸素濃度〈FiO<sub>2</sub>〉 ————— 0.7

42 Daniels らの徒手筋力テスト(原著第 10 版)において、段階 2 を座位で行う筋で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 棘下筋
2. 三角筋後部
3. 前鋸筋
4. 大腰筋
5. 縫工筋

43 術後廃用症候群と予防の組合せで正しいのはどれか。

1. 筋萎縮 ————— ベッド上ポジショニング
2. 骨萎縮 ————— 弾性ストッキング
3. 関節拘縮 ————— 下肢外転枕
4. 静脈血栓症 ————— ティルトテーブル〈斜面台〉立位
5. 起立性低血圧 ————— ヘッドアップ〈ギヤッチアップ〉座位

44 COPD 患者で増加するのはどれか。2つ選べ。

1. 1秒量
2. 機能的残気量
3. 全肺気量
4. ピークフロー
5. 予備吸気量

45 呼吸に対する腹臥位の効果で正しいのはどれか。

1. 上部胸式呼吸を促進する。
2. 左舌区からの排痰を促す。
3. 座位に比べて肺活量が増加する。
4. 立位に比べて換気は肺尖部に多く分布する。
5. 背臥位に比べて肺の腹側に血流が多く分布する。

46 関節リウマチに対する理学療法で最も適切なのはどれか。

1. 等尺性運動で筋力を維持する。
2. 関節強直では関節可動域運動を行う。
3. ムチランス変形では他動運動を行う。
4. 活動期の痛みに対して温熱療法を行う。
5. 環軸椎亜脱臼では頸椎可動域運動を行う。

47 中枢神経系の感染症と病原体の組合せで誤っているのはどれか。

1. Creutzfeldt-Jakob 病 ————— プリオン
2. エイズ脳症 ————— ウイルス
3. 進行麻痺 ————— スピロヘータ
4. 日本脳炎 ————— ウイルス
5. 急性灰白髄炎〈ポリオ〉 ————— 細菌

48 評価における統合・解釈で誤っているのはどれか。

1. 症候障害学的に捉える。
2. 各検査結果の意味を考える。
3. 問題点の順序性を考慮する。
4. 検査項目間の関係性を考える。
5. 考察は検査結果を羅列するものである。

49 職業倫理で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 医療倫理には3原則がある。
2. 個人情報保護法を遵守する。
3. 患者の自己決定権を尊重する。
4. 理学療法士の職業倫理に Hippocrates の誓いがある。
5. 違反時の免許の取消しは都道府県知事により科せられる。

50 災害時に被災者の生活機能を中心に支援を行うチームはどれか。

1. ACT
2. DHEAT〈Disaster Health Emergency Assistance Team〉
3. DMAT〈Disaster Medical Assistance Team〉
4. DPAT
5. JRAT

51 三角骨に接するのはどれか。

1. 月状骨
2. 舟状骨
3. 小菱形骨
4. 大菱形骨
5. 有頭骨

52 白線がある筋はどれか。

1. 僧帽筋
2. 上腕二頭筋
3. 大胸筋
4. 腹直筋
5. 半膜様筋

53 中心後回に位置するのはどれか。

1. 一次運動野
2. 一次嗅覚野
3. 一次視覚野
4. 一次聴覚野
5. 一次体性感覚野

54 外側毛帯が伝える感覚情報はどれか。

1. 嗅覚
2. 視覚
3. 聴覚
4. 痛覚
5. 深部覚

55 動脈で正しいのはどれか。

1. 弁がある。
2. 容量血管とよばれる。
3. 壁は3層の組織からなる。
4. 静脈より血流速度は遅い。
5. 血管の平滑筋には副交感神経が分布している。

56 呼吸器で正しいのはどれか。

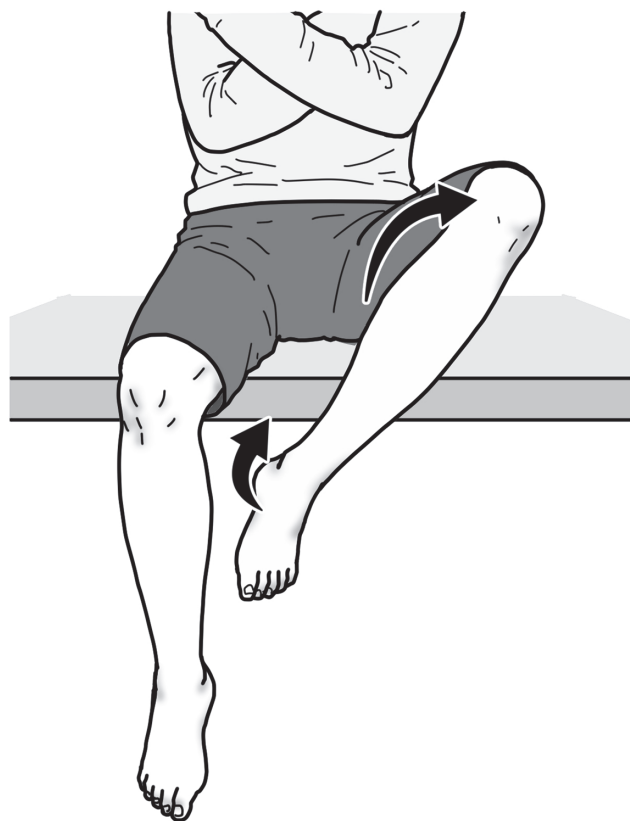
1. 鼻前庭は粘膜で覆われる。
2. 咽頭は中耳と交通する。
3. 喉頭は下気道に含まれる。
4. 気管は第4頸椎の高さから始まる。
5. 気管分岐部は食道の第1狭窄部にある。

57 自由神経終末が受容するのはどれか。

1. 圧 覚
2. 関節の動き
3. 筋の伸展
4. 触 覚
5. 痛 覚

58 左下肢の運動時の図を示す。

左上前腸骨棘のすぐ遠位に筋緊張を触知する筋はどれか。



1. 大腿直筋
2. 薄筋
3. 半腱様筋
4. 半膜様筋
5. 縫工筋

59 身体構造と神経の組合せで正しいのはどれか。

1. Frohse アークード ————— 坐骨神経
2. Guyon 管 ————— 正中神経
3. Scarpa 三角 ————— 大腿神経
4. 手根管 ————— 尺骨神経
5. タバコ窩 ————— 後骨間神経

60 扁平上皮があるのはどれか。

1. 胃
2. 気 管
3. 結 膜
4. 腔
5. 尿 管

61 骨格筋の筋線維で正しいのはどれか。

1. 単核である。
2. ミトコンドリアをもたない。
3. 筋原線維は筋節に細分化される。
4. 筋小胞体は  $\text{Na}^+$  の貯蔵部位である。
5. ミオシンフィラメントは主に I 帯に存在する。

62 感覚受容器でないのはどれか。

1. 筋紡錘
2. Golgi 装置
3. Pacini 小体
4. Ruffini 終末
5. Meissner 小体

63 長期にわたる持久力トレーニングの影響を受けにくいのはどれか。

1. 心拍出量
2. 最大心拍数
3. 筋の脂肪代謝能
4. 筋線維の毛細血管密度
5. 速筋と遅筋線維の割合

64 交感神経で正しいのはどれか。

1. 排尿筋が収縮する。
2. グリコーゲンの合成が促進される。
3. 第1胸髄から第2腰髄の後根を通る。
4. 副腎髄質は節後線維の直接支配を受ける。
5. 節前線維末端からアセチルコリンが放出される。

65 血液凝固でフィブリノゲンをフィブリンに変化させるのはどれか。

1. 血小板
2. コラーゲン
3. トロンビン
4. プラスミン
5. プロテイン C

66 腸管におけるカルシウム吸収を低下させるのはどれか。2つ選べ。

1. エストロゲン
2. 蛋白質
3. ビタミン D
4. 副腎皮質ホルモン
5. リン

67 昇圧作用を持つのはどれか。2つ選べ。

1. アルドステロン
2. インスリン
3. カルシトニン
4. コルチゾール
5. ソマトスタチン

68 基礎代謝で正しいのはどれか。

1. 安静立位で計測する。
2. 体温の上昇によって減少する。
3. 同性、同年齢ならば体表面積に反比例する。
4. 代謝当量(METs)は、作業時代謝量と安静時代謝量との差で表す。
5. 食後の消費エネルギー増加は、脂質摂取に比べ蛋白質摂取で大きい。

69 力学で誤っているのはどれか。

1. ワットは仕事の単位である。
2. ニュートンは力の単位である。
3. 力は質量と加速度との積である。
4. 仕事は力と移動距離との積である。
5. 仕事率は単位時間当たりの仕事である。

70 運動軸が1つの関節はどれか。2つ選べ。

1. 腕尺関節
2. 母指 IP 関節
3. 示指 MP 関節
4. 肩甲上腕関節
5. 橈骨手根関節

71 血液供給を伴うのはどれか。

1. 寛骨臼横靭帯
2. 坐骨大腿靭帯
3. 大腿骨頭靭帯
4. 恥骨大腿靭帯
5. 腸骨大腿靭帯

72 体幹の回旋運動を図に示す。

この運動に作用するのはどれか。



1. 右多裂筋
2. 左腰方形筋
3. 右外腹斜筋
4. 右内腹斜筋
5. 左脊柱起立筋

73 荷重応答期で遠心性収縮するのはどれか。2つ選べ。

1. 長指伸筋
2. 前脛骨筋
3. 短腓骨筋
4. ヒラメ筋
5. 長母指屈筋

74 膝関節で正しいのはどれか。

1. 内側半月板は内側側副靭帯と結合している。
2. 屈曲角度が増すと徐々に転がり運動が増える。
3. 大腿筋膜張筋は膝屈曲位で膝伸展に作用する。
4. 内側側副靭帯の幅は外側側副靭帯に比べ細い。
5. 膝関節内旋に作用する筋は大腿二頭筋である。

75 再生能力が最も高いのはどれか。

1. 角 膜
2. 骨 髄
3. 心 筋
4. 神 経
5. 横紋筋

76 病因のうち物理的要因はどれか。2つ選べ。

1. 騒音
2. 紫外線
3. フグ毒
4. ウイルス
5. 一酸化炭素

77 急性炎症初期にみられないのはどれか。

1. 壊疽
2. 腫脹
3. 疼痛
4. 熱感
5. 発赤

78 転移で誤っているのはどれか。

1. 転移は逆転移を誘発する。
2. 転移は行動化の原因となる。
3. 心理治療の目的は陽性転移の出現である。
4. 転移の解釈は患者の葛藤を解消する手段となる。
5. 患者が好意を治療者に向けるのは陽性転移である。

79 自動販売機で飲料を買う手順において、陳述記憶が必要なのはどれか。

1. 財布を開ける。
2. 小銭を投入する。
3. 取出口のフタを開ける。
4. 飲料を取り出す。
5. つり銭を確認する。

80 質問紙法はどれか。

1. BDI-II
2. BPRS
3. HAM-D〈HRS-D〉
4. HDS-R
5. PANSS

81 絶対臥褥を行うのはどれか。

1. 系統的脱感作法
2. 支持的な精神療法
3. 精神分析療法
4. 認知行動療法
5. 森田療法

82 ICF の概念モデル(生物心理社会モデル)に含まれる構成要素はどれか。

1. 医療依存
2. 環境因子
3. 性格因子
4. 能力低下
5. 社会的不利

83 多発性硬化症のリハビリテーション治療で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 痙縮に対して温熱療法を行う。
2. 筋力低下に対して1RMを反復し強化する。
3. 運動失調に対して重錘を負荷して練習を行う。
4. 視野欠損に対して照明などの環境整備を行う。
5. 歩行障害に対して早期から下肢装具を作製する。

84 Parkinson 病の治療薬はどれか。

1. NSAIDs
2. L-dopa
3. コリン作動薬
4. カルシウム拮抗薬
5. セフェム系抗菌薬

85 遠城寺式乳幼児分析的発達検査で獲得される時期が最も早いのはどれか。

1. 走る。
2. 2 語言える。
3. 排尿を予告する。
4. 人見知りをする。
5. 積み木を 2 つ重ねる。

86 頭部 MRI と比較したとき、頭部 CT で正しいのはどれか。

1. 被ばくしない。
2. 短時間で撮影できる。
3. 脳幹部の病巣がわかりやすい。
4. 脳出血の診断には有効でない。
5. 急性期の脳梗塞の診断に有用である。

87 アスピリンの主作用はどれか。

1. 抗 菌
2. 催 眠
3. 止 血
4. 鎮 咳
5. 鎮 痛

88 一次救命処置で最初に確認するのはどれか。

1. 意識
2. 血圧
3. 呼吸
4. 脈拍
5. 対光反射

89 成人男性に好発するのはどれか。

1. Ferinberg 病
2. Kienböck 病
3. Osgood-Schlatter 病
4. Perthes 病
5. Sever 病

90 外傷性脊髄損傷で正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 腰髄損傷が最も多い。
3. 高齢者が増加している。
4. 労働災害の受傷は増加している。
5. 発生頻度は人口100万人当たり約100人/年である。

91 感覚障害を合併するのはどれか。2つ選べ。

1. 重症筋無力症
2. 多発性硬化症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 肢帯型筋ジストロフィー
5. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

92 慢性腎臓病の臨床所見はどれか。

1. 蛋白尿
2. 低血圧
3. アルカローシス
4. 高カルシウム血症
5. エリスロポエチンの産生亢進

93 悪性の骨軟部腫瘍が疑われる場合、診断確定に最も重要なのはどれか。

1. PET-CT
2. 生 検
3. 血液検査
4. 骨密度測定
5. 超音波検査

94 緩和期のがんのリハビリテーション医療で正しいのはどれか。

1. 疲労骨折をきたしやすい。
2. 疼痛に温熱療法は禁忌である。
3. QOL より機能回復を優先する。
4. がん治療前の ADL 獲得を目標とする。
5. 患者の意思に合わせてプログラムを変更する。

95 認知症で最も頻度が高いのはどれか。

1. Alzheimer 型認知症
2. Levy 小体型認知症
3. 血管性認知症
4. 正常圧水頭症
5. 前頭側頭型認知症

96 機能性神経学的症状症/変換症〈転換性障害〉で正しいのはどれか。

1. 精神療法は無効である。
2. 20 歳以降の発症は稀である。
3. 経過が短いほど予後不良である。
4. 患者が診断を受け入れていると予後が良い。
5. パーソナリティー症〈パーソナリティー障害〉の合併例は予後が良い。

97 Wilson 病で代謝に異常がみられるのはどれか。

1. 亜鉛
2. コバルト
3. 鉄
4. 銅
5. マンガン

98 人格検査はどれか。

1. CMI
2. MMSE
3. STAI
4. WAIS
5. WMS-R

99 健常成人の脳波で、安静閉眼時の基礎律動はどれか。

1.  $\alpha$  波
2.  $\beta$  波
3.  $\gamma$  波
4.  $\delta$  波
5.  $\theta$  波

100 ベンゾジアゼピン系睡眠薬を定期的に内服している患者が「副作用が心配なので内服をやめたい」と訴えた。

適切な声かけはどれか。2つ選べ。

1. 「眠れない日だけ飲むようにしてみましょう」
2. 「どのような副作用が心配か、教えてください」
3. 「薬には副作用がつきものです。我慢してください」
4. 「依存性のある薬なので、直ちに中止して様子を見ましょう」
5. 「主治医に直接相談するのが難しければ、私から主治医にお伝えすることもできます」











